

SOSの出し方教育について

1 計画

年間	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導アンケート、町のいじめアンケートの実施（計8回） ・アンケート後、担任による教育相談の実施 ・SCによる教育相談の実施（希望者） ・職員室付近の廊下に「岐阜県子ども・家庭電話相談室カード」「子どもの人権SOSミニレター」を設置
長期休み前	<ul style="list-style-type: none"> ・長期休みの生活についての配付物に、相談窓口の電話番号を記載 ・命を大切にすること、休み中でも心配なことや不安なことがあったら相談することについて、担任や生徒指導主事から啓発
夏休み前	・SCによる「SOSの出し方教育」の実施（対象：全校）

2 実践 ～SCによる「SOSの出し方教育」～

- (1) ねらい
- ・心の健康を保つための考え方やスキルを学び、ストレスに対応できるようにする。
 - ・SOSの発信の仕方や受け取り方について学び、悩みを一人で抱え込まず信頼できる大人に相談したり、相談ダイヤル等、相談できる場があることを知ったりすることができる。
- (2) 実施日 6月30日（木）5時間目
- (3) 実施場所・方法 各教室・SCによる「SOSの出し方」についてのビデオ視聴
- (4) 内容

事前	<ul style="list-style-type: none"> ・朝の会で担任が、「1学期の活動と仲間作りについての振り返り」「さまざまな人間関係やプレッシャーの中でがんばってきた今があること」「これからも楽しい学校生活を送るために、悩みや相談ごとがあれば、気軽に相談してほしいこと」を伝える。
事中 (本時)	<p>○SCによる「SOSの出し方」についてのビデオ視聴と実践</p> <p>①SOSの出し方教育のねらいとSCの紹介</p> <p>②SOSの出し方について</p> <p>〈悩みについて〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんなときに悩んだりもやもやしたりするか、ワークシートに記入する。 <p>〈リフレッシュ方法について〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のリフレッシュ方法をワークシートに記入する。→周りの子と交流する。 ・リフレッシュ方法を聞く。（気持ちを書き出す、体をリラックスさせる） ・リフレッシュ方法を実践する。（落ち着く呼吸をする、体の力を抜く） <p>〈SOSの受け止め方について〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達が悩んでいるときにどんなふうに関心するとよいか、ワークシートに記入する。 ・話の聞き方のポイントを確認する。 ・友達の変化やSOSのサインに気付くポイントを知る。 ・相談の仕方を具体的に知る。（相談相手、相談するときの言い方）
事後	<ul style="list-style-type: none"> ・悩みごとがあれば、生活ノートに書いたり、直接話したりするように生徒に伝える。 ・SOSを出すことについて、担任の講話を話す。 ・相談ダイヤルのリーフレットを配付する。